

マナック株式会社 福山工場 CSR報告書 2010

目次

目次	1
ごあいさつ	2
マナックについて	3～5
(マナックの概要、沿革、事業領域)	
マナック福山工場の概要	6
環境への取組	7～8
(環境方針、環境マネジメントシステム)	
環境モニタリング	9～10
(PRTR報告、産業廃棄物量、エネルギー使用量の推移)	
環境活動の事例	11～14
(3R活動、環境負荷低減活動、写真で見る環境対応事例 社内環境改善活動、省エネルギー法対応)	
その他の社内活動事例	15～16
(安全衛生活動、緊急時対応体制、コンプライアンス活動)	
近隣地域、外部関連団体との連携等	17
被災地支援・義援金	17

■編集方針

本レポートは、マナック株式会社福山工場(本社・福山工場サイト)敷地内にある関連組織およびグループ会社の、環境・安全・地域コミュニケーションについての活動と実績を中心に掲載しています。
読者の皆様には、私たちCSR活動への取り組みを客観的にご覧いただき、さらなる改善につながるよう、また、コミュニケーションツールとして機能できるよう、レポートをお読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

■対象組織

マナック株式会社福山工場(本社・福山工場サイト)敷地内にある関連組織およびグループ会社が対象

■参考にしたガイドライン

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」
環境省「環境報告ガイドライン～持続可能な社会をめざして(2007年版)」

■対象期間

2010年度(2010年4月～2011年3月)

■お問い合わせ先

マナック株式会社福山工場

TEL : (084)954-3330

FAX : (084)953-8523

E-mail : info@manac-inc.co.jp

ごあいさつ

始めに、平成23年3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様のご無事と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当工場もこの未曾有の震災により多少の影響を受けてはおりますが、主力事業のファイケンケミカル事業、難燃剤事業、ヘルスサポート事業には大きな影響は受けず、継続して生産活動を展開しております。

さて、マナック株式会社福山工場(本社・福山工場サイト)は温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開してきました。この恵まれた自然環境、居住環境を損なうことなく、次代に永続的に引き継いでいくことも企業の使命であり、環境保全への取り組みを経営の最重要課題の1つと認識し、企業活動を展開しております。

マナックでは、「マナック環境方針」に沿って環境への取り組みについての計画を策定し、環境関連会議や監査などを通じて実施状況を確認しています。

また、開発から廃棄に至る全過程において、環境負荷の低減や人体への安全性確保のために、法規制の遵守を初めとする環境保全への取り組みを全従業員の活動の中に浸透させるため、環境情報の共有化に努めております。

さらに、環境問題への取り組みをより強化するため、2003年10月に福山工場を対象にISO14001の認証を取得しました。

今後も、社会的な環境意識の向上や要請に対応するために継続的な改善と取り組みの拡大を目指してさらなる努力を続けてまいります。

2010年度も、環境汚染の未然防止、CO₂排出削減・省エネ、廃棄物削減、VOC(揮発性有機化合物)排出量の削減などに取り組み、それぞれ成果をあげることができました。特に地球的規模で最重要課題であります地球温暖化対策については、社内体制を整え、積極的に対応を開始しています。

CO₂削減を目的として、燃料を重油から都市ガス(液化天然ガス)へ切り替え、新規ボイラー等の設置を終え、既に本格稼働しております。また全社的な地球温暖化対策推進活動として当工場内だけでなく、全事業所においても、省エネ意識を高めCO₂排出削減に向け積極的に取り組んでおります。

これらの取組が評価され、2010年2月19日には福山環境賞を受賞しました。

当工場は、社会的責任として、今後とも一層充実した取り組みを進めてまいります。当工場の環境・安全に対する積極的な取り組みについて本報告書によりご理解をいただくとともに、皆様からのご指摘、ご意見、ご指導を賜れば幸いと存じます。

2011年6月
マナック株式会社福山工場
常務取締役 村田耕也

マナックについて

1. マナックの概要

本社所在地

広島県福山市箕沖町92番地

設立

昭和23年(1948年)5月

資本金

17億5,750万円

従業員数

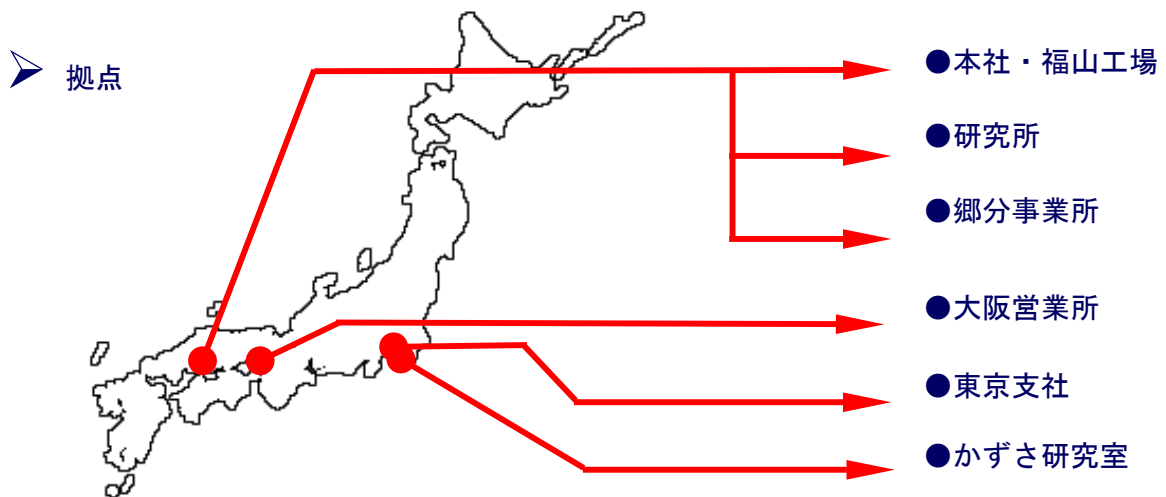
約200人(グループ従業員350人)

関連会社

八幸通商株式会社

エムシーサービス株式会社

ヨード・ファインケム株式会社



記念塔 (Kubirschky の装置)

この塔は1970年頃まで、臭素の製造に使用されていたものを移設し、臭素工業のシンボルとして保存しています。(当時は、石作りの蒸留塔を使用していました)



マナックについて

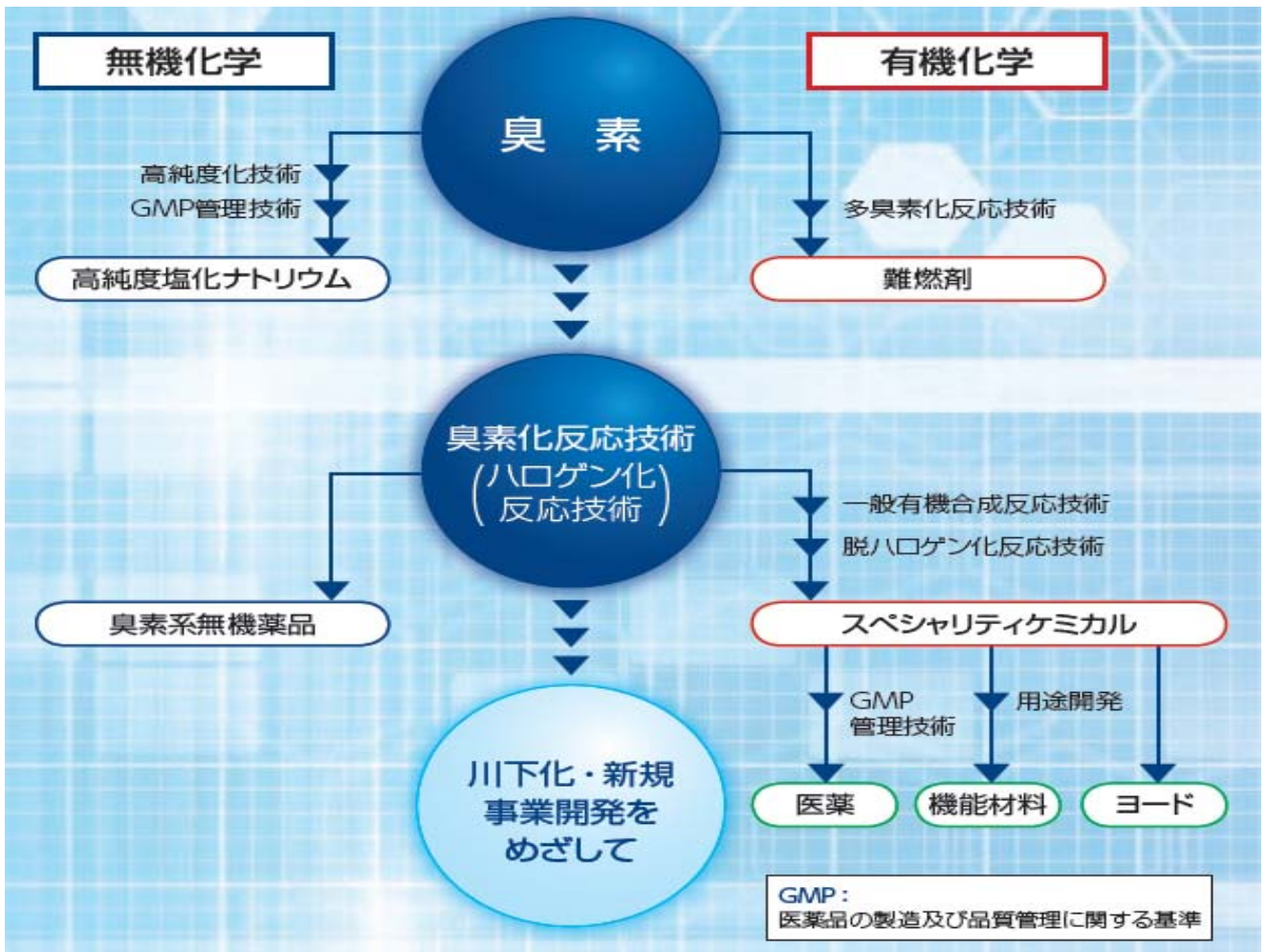
2. マナックの沿革

1948年(昭和23年)	松永塩業組合より分離して資本金100万円で会社創立
1952年(昭和27年)	写真感光材料の生産開始
1958年(昭和33年)	臭素化合物の生産開始
1959年(昭和34年)	大阪営業所開設
1960年(昭和35年)	医薬品製造許可取得
1961年(昭和36年)	複写薬品の生産開始
1964年(昭和39年)	本社・工場を福山市郷分町に移転
1967年(昭和42年)	東京営業所開設
1969年(昭和44年)	難燃剤の生産開始
1976年(昭和51年)	大阪中小企業投資育成の資本参加を受ける
1977年(昭和52年)	本社を福山市西町に移転
1978年(昭和53年)	箕沖工場(現、福山工場)操業開始
1982年(昭和57年)	広島県先端技術産業に選定される
1983年(昭和58年)	(社)中小企業研究センター賞受賞
1988年(昭和63年)	松永化学工業よりマナックに社名変更
1990年(平成2年)	広島証券取引所に株式上場
1999年(平成11年)	ISO9002の認証取得
2000年(平成12年)	東京証券取引所第二部に株式上場
2002年(平成14年)	ISO9001(2000)の認証取得
2003年(平成15年)	ISO14001の認証取得 千葉県木更津市にかずさ研究室を開設
2004年(平成16年)	関連会社ヨード・ファインケム(株)設立
2006年(平成18年)	箕沖工場内に医薬生産工場完成 N E D O 賞受賞
2007年(平成19年)	本社を福山市箕沖町に移転
2008年(平成20年)	千葉県君津市に用地を取得し、かずさ研究室を移転
2009年(平成21年)	八幸通商(株)を子会社化

昭和23年(1948年)松永塩業組合(現、福山市松永町)から苦汁(ニガリ)の一貫処理を目的に分離独立しました。その後、写真感光材料(1952年)、臭素化合物(1958年)の生産を開始しました。当工場は、昭和53年(1978年)箕沖工場(現、福山工場)として操業を開始しました。平成2年(1990年)広島証券取引所に上場、その後、平成12年(2000年)に東京証券取引所に上場しました。平成16年(2004年)にヨウ素関連製品の開発、製造、販売を目的にヨード・ファインケム(株)を設立しました。平成21年(2009年)に八幸通商(株)の全株式を取得して子会社化いたしました。

マナックについて

3. マナックの事業領域



私たちは、臭素の反応性の良さに注目して臭素化合物の生産を続けてきました。
 その結果、「臭素のことなら、マナックに。。。」とご指名いただけるほど、臭素化合物の総合メーカーとしての地位を築いてきたと自負しています。
 私たちは臭素を基本として、ハロゲン化反応技術を駆使して更に付加価値の高い商品の開発を進めています。

マナック福山工場の概要

所在地

広島県福山市箕沖町92番地

操業開始

昭和53年(1978年)

敷地面積

34,500m²(約1万坪)

従業員数(派遣、契約社員を含む)

生産部門 約 90名

品質管理部門 約 25名

研究・開発スタッフ 約 30名

本社スタッフ 約 15名

総計 約160名

関連会社 約 10名

勤務形態

大型工場 四直3交替 6組

1勤 7:00 ~ 15:10

2勤 15:00 ~ 23:10

3勤 23:00 ~ 7:10

ファイン工場

日勤 8:30 ~ 17:00(一部1勤+2勤)



福山工場全景



環境への取組

1. マナック環境方針

マナック環境方針

当社は温暖な気候に恵まれた瀬戸内の地に創業し、今日まで企業活動を展開してきました。

この恵まれた環境を守ることも企業の使命であり、環境保全への取り組みを経営の最重要課題の1つと認識し、企業活動を展開します。

1. 環境管理のための体制やシステムを確立し、その運営については定期的な見直しを行うと共に、継続的改善を図ります。
2. 環境保全に関する各種法令・協定等を順守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 生産活動等において、大気への排出の抑制と廃棄物の削減に配慮した環境目的・目標を定め、その実現を図ります。
4. 省エネルギーを中心とした温暖化防止への取り組みを進めていきます。
5. 全従業員の環境に対する意識と知識の向上を図るため、積極的な教育活動を展開・推進します。

この環境方針は、社会の正しい理解が得られるよう全従業員に周知徹底すると共に、外部からの要求に応じて開示します。

2007年4月1日



マナック株式会社

取締役社長 杉之原 祥二

私たちは、このマナック環境方針に沿って環境への取り組みを行っています。

環境への取組

2. 環境マネジメントシステム

福山工場は、平成15年(2003年)にISO14001*1 国際規格の認証を取得し、2006年にはISO14001:2004 年版への移行審査を受けました。

*1 法を守り、環境リスクと環境負荷を継続的に低減するための仕組みをいいます。

- 継続的改善
- 環境方針の設定
- 環境目的目標の設定
- 実施プログラムの設定
- 実施プログラムに沿った実施と運用
- 監視、測定、記録
- 内部監査、外部審査
- 是正処置
- 経営層による見直し
等を行うマネジメントシステムです。

当社は「マナック環境方針」に沿って、環境への取り組みについての計画を策定し、環境関連会議や内部監査を通じて実施状況を確認しています。

また、開発から廃棄に至る全過程において、環境負荷の低減や人体の安全性確保のために、関連法令の順守を初めとする環境保全の取り組みを全従業員の活動の中に浸透させるべく推進しています。

ISO会議体

マネジメントレビュー会議
品質・環境会議
ISO推進委員会

環境目的

方針	施策例
大気への排出抑制	回収率の向上
廃棄物の削減	3R活動*2
省エネ	工場の電力使用量削減等 省エネルギー法対応
汚染の予防	管理システムの強化

*2 3Rは、Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つの英語の頭文字を表し、環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使うための活動をいいます。



ISO14001認証書

環境モニタリング

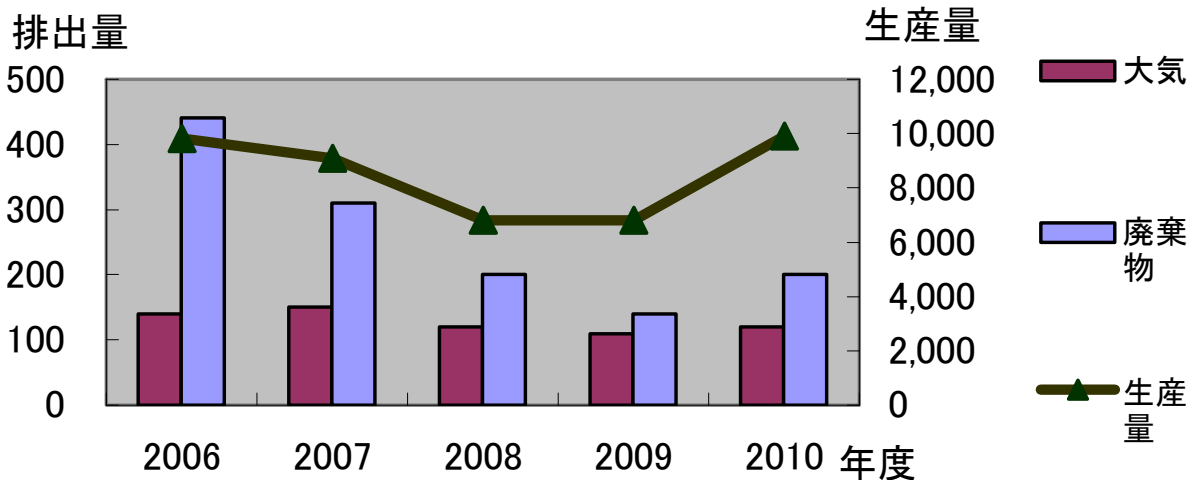
1. PRTR報告*3

*3 環境汚染物質排出移動登録(Pollutant Release and Transfer Register)の略で、化学物質を製造・使用する事業者が自主的に環境への排出量を把握・管理する仕組みのことです。

PRTR対象物質の排出量データ

(単位:t)

年度	大気への排出	下水道への移動	当該事業所の外への移動(産業廃棄物等)	工場製品の総生産量
2006	140	1	440	9,800
2007	150	1	310	9,100
2008	120	0	200	6,800
2009	110	0	140	6,800
2010	120	0	200	9,900



2010年度は、生産活動の増加により、2009年度より排出量が増加しました。但し、生産工程の見直し(設備の密閉化、回収率の向上等)を継続的に行い、大気への排出量や産業廃棄物量の削減を行った結果、生産量あたりの排出量は減少しています。

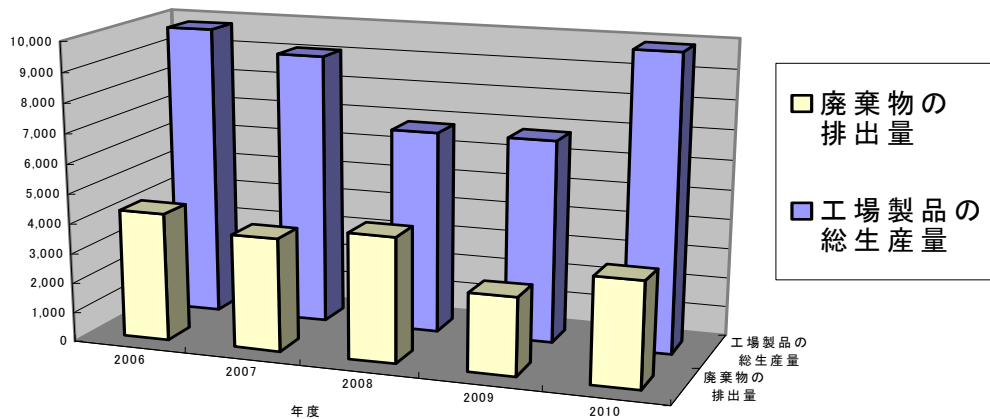
環境モニタリング

2. 産業廃棄物排出量の推移

2010年度は、生産活動の増加により、2009年度より産業廃棄物量が増加しました。但し、生産工程の見直し、3R活動等を継続的に行い削減を行った結果、生産量あたりの量は減少しています。

(単位:t)

年度	2006	2007	2008	2009	2010
工場製品の 総生産量	9,800	9,100	6,800	6,800	9,900
廃棄物の 排出量	4,300	3,800	4,200	2,600	3,500



3. エネルギー使用量の推移

エネルギー使用量

年度	2006	2007	2008	2009	2010
原油換算 使用量(KL)	4,900	4,700	4,100	3,900	4,400
二酸化炭素 排出量(CO2 t)	12,000	12,000	9,200	9,200	10,000

エネルギー使用量については、後述の省エネルギー法対応のページにて説明します。

4. その他

騒音・臭気については工場周囲境界上で定期的に測定を行い、法規制値以下で問題のないことを確認しています。また、下水道排水についても排出口で定期的に測定を行い、法規制値以下で問題のないことを確認しています。

5. 環境クレーム

2010年度、環境クレームはありませんでした。

環境活動の事例

1. 3R活動*2

ISO14001認証取得企業として環境方針に従い、産業廃棄物の削減や廃棄委託していた一部の再利用等、外部への移動量の削減努力を継続しております。

主な取り組みと施策

(1) リデュースの推進

生産工程における廃棄物の発生量の削減

施策	リデュース方法
環境目的・目標	達成度確認、継続的改善 (例: 工程廃液の削減、回収溶媒の再使用等)

(2) リユースの推進

工場より発生する副資材等の再使用

対象品	リユース方法
包装材料	社内再使用 (例: 紙袋、フレコン等の再使用)、

(3) リサイクルの推進

工場より発生する廃棄物のリサイクルによる有効活用

廃棄物	リサイクル方法
廃プラスチック	サーマル セメント焼成燃料化
ダンボール・シュレツダー紙	サーマル 再生 製紙原料
鉄スクラップ	再生 製鋼原料
木くず	サーマル 製紙用

(4) 適切な廃棄物処理の推進

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従った 産業廃棄物処理計画に基づく適正処理を推進しております。処理委託先(収集運搬業者、中間処理業者及び最終処分業者)の定期的現地調査による監視を実施しております。

2. 環境負荷低減活動

①水質汚濁防止、大気汚染防止

生産プロセスの改善やクローズドシステムの採用、総合排水処理システム等の充実と適正な運転管理などにより、環境への排出の削減に努めております。

総合排水処理システム



環境活動の事例

②化学物質の管理

化学物質による環境汚染を未然に防止するため、関連法令を一覧表にし、それに基づく適正な管理を行っております。また、廃棄物削減や環境負荷の低減のため、回収再利用や環境負荷の低い物質への転換なども実施しております。

その他、国内外の規制動向、国内法令見直し等の情報入手。MSDS(化学物質安全データシート)、イエローカード(化学物質等の輸送時の万一の事故に備え、運転手や消防・警察などの関係者が取るべき処置を書いた緊急連絡カード)の作成、管理を行っています。

3. 写真で見る環境対応事例

緑のカーテン



環境対応車両の導入(プリウス・デミオ)



省エネ型サーバーシステム



昼休憩の事務所消灯



事務所の2重ガラス及びUVカットフィルム貼付



環境活動の事例

4. 社内環境改善活動

緑地帯管理委員会を中心に社内で緑化管理を推進しております。

外部業者と連携し、社内各部署で対応しております。

- 緑化管理……
- ・工場外周の清掃(毎月一回定期に対応中)
 - ・工場フェンス内周の植木の剪定(剪定後は社内での収集と廃棄対応)
 - ・植栽への散水、草取り・草刈等

社内緑化対応例

正門ロータリー



工場内植栽



臭素記念塔公園



工場内・外周



清掃管理……外部業者と連携し、共用施設(食堂、更衣室)、事務所等の社内清掃を実施しております。

環境活動の事例

5. 省エネルギー法対応

組織

2011年度より本格的に開始される改正省エネルギー法への対応を先取りして、2010年度始めにエネルギー管理統括者及びエネルギー管理企画推進者を設け、全社的な省エネルギー対応を開始しました。

ハード

高効率ガス焚き貫流ボイラ導入
省エネ型エアコンに更新
省エネ型冷凍機に更新

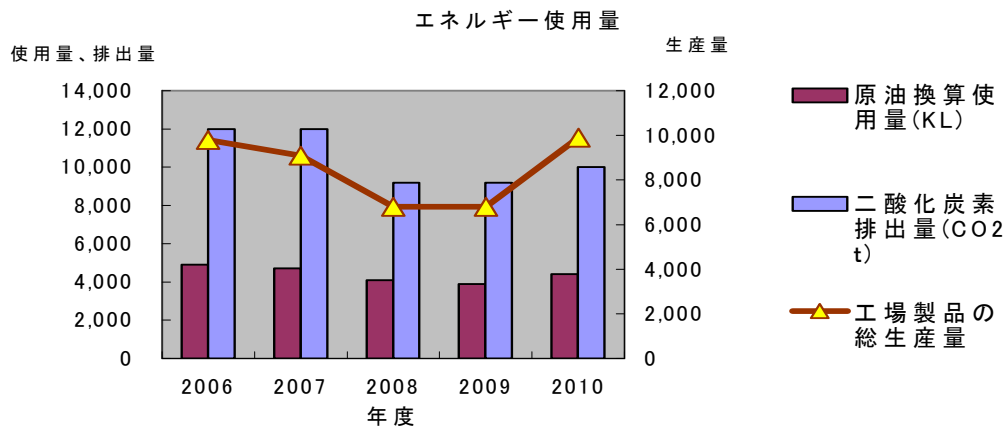
ソフト

ISO14001による省エネルギー活動を展開
マナッククール・ビズ(6/1~9/30)
マナックウォーム・ビズ(12/15~3/31)
懸垂幕による省エネ意識の向上 ・毎月1日「毎月1日は省エネルギーの日」 ・6~9月「夏の省エネルギー実施中」 ・2月「2月は省エネルギー月間」

蒸気ボイラー用燃料を重油から都市ガスに変更

福山工場サイトでは、2009年より、生産状況に合わせて必要な蒸気を効率よく発生させることができる新ボイラー設備を導入し、燃料を重油から都市ガスに転換しました。これにより、CO2 排出量を大幅に削減できる見込みです。

しかし、2010年度は、生産活動の増加により、2009年度より排出量が増加しましたが、都市ガス化により生産量あたりのCO2排出量は大幅に減少しています。



その他の社内活動事例

1. 安全衛生活動

安全衛生管理組織を整備するとともに、部署別に推進委員を選任し、社内での安全・衛生に関する活動を展開しております。

安全衛生委員会、安全衛生管理委員会 定例（各 12 回開催） 臨時開催（随時）
委員会内に小グループを設け、テーマ別に検討（随時）

実施事項

部署別管理の推進と定期報告

社内外の講習会開催（毎月 2 回実施）

安全衛生パトロールの実施

5S^{*4}の推進

危険に対する感受性の向上活動

全国安全週間、全国衛生週間行事の企画、推進、実施

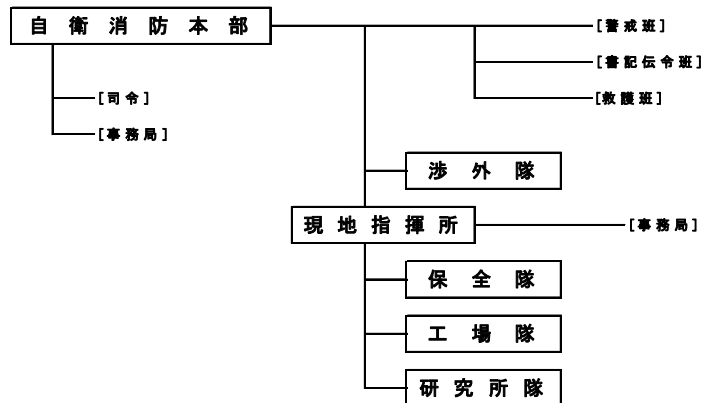
外部関連団体との連携等

*4. 整理、整頓、清掃、清潔、躰（しつけ）の頭文字をとったもので、コスト削減・顧客満足・安全衛生・従業員能力向上等を目指していくものです。

2. 緊急時対応体制

地震・火災・事故などの緊急事態には工場構内外への影響を最小限にとどめるため、「工場自衛消防隊」を設置しています。緊急時には全従業員がこの組織に移行し、対応にあたります。

自衛消防隊組織



今年度、3回の想定訓練を実施しました。（想定：地震、化学薬品の漏洩、火災）
なお、公設消防（福山消防）との合同訓練を2011年5月に実施しました。



その他の社内活動事例

3. コンプライアンス^{*5}(法令遵守)活動

^{*5}. 法律や規則、社会規範などに背くことなく、企業活動などを行うことです。

当社は経営理念「お客様の信頼」「健全な企業活動」を掲げ、私たちが絶えず心掛けているものです。当社がこの経営理念を掲げ、メーカーとして事業活動をしていく上で、環境関連法令、労働安全衛生法、等々の私たちを取り巻くあらゆる法令を守ることは、企業活動の中でもっとも優先されるべきものであり、企業存続のためにも必須のことです。このために、企業行動憲章を定め日々の活動の指針としています。(当社HPに公開)

社員全員に、この企業行動憲章を含むコンプライアンス・ハンドブック(倫理・法令遵守)を配布しています。

また、内部通報制度を整備して会社がコンプライアンス違反を早く知ることができ、違反行為に対してより効果的に対処することを目指しています。また、連絡した方が不利益を受けることから守ります。

2010年度の実施事項は、以下のとおりです。

- コンプライアンス推進体制(部門責任者、委員会等)の制定
- コンプライアンス委員会の設置
- コンプライアンスプログラムの制定
- コンプライアンス教育の実施(定例教育(1回/月)、コンプライアンス推進月間教育(10月)等)
- 化学分野の関連法令教育^{*6}
- 監査室、環境品質保証室による監査実施
- コンプライアンスアンケートの実施

^{*6}. 化学分野の法規制情報の一例

毒劇物取締法
労働安全衛生法
水質汚濁防止法
大気汚染防止法
PRTR法
化学物質審査規制法 他

近隣地域、外部関連団体との連携等

○福山箕沖団地協議会*7への参加

- 団地内清掃
- 野犬保護
- 街路灯管理
- 親善ボーリング大会、サッカー大会

*7. 福山市箕沖町の工業団地内各企業会員相互の連携と親睦を図ると共に、地域社会に貢献することを目的とした会です。(2011年6月現在会員数 70社)

○社会貢献活動

- 福山市関連活動への協賛 ばら祭り、夏祭り
- 近隣地域行事への協賛

箕沖団地内歩道の清掃風景



被災地支援・義援金

当社は東日本大震災に対する災害義援物資として、当社製品である「固定化できる抗菌剤Etak」の業務用5リットル品100本(420万円相当)を東京都福祉保険局 医療政策部 救急災害医療課に寄贈いたしました。

このEtakは、持続的に殺菌作用を発揮しますので、被災地においてインフルエンザや肺炎、食中毒などの感染防止の一助になればと思い寄贈したものであります。

また、抗菌剤Etakのスプレーを福山地区消防局と福山市危機管理防災課にも寄贈し、被災地での支援活動に携行使用して頂きました。

また、マナック社員有志一同による義援金を 中国新聞社会福祉事業団を通じ、日本赤十字社へお送りしております。(355,355円)



■発行年月

2011年6月

■お問い合わせ先

マナック株式会社福山工場

TEL : (084)954-3330

FAX : (084)953-8523

E-mail : info@manac-inc. co. jp